

障害者施策総合調査（平成17年度） 「生活環境」及び「情報・コミュニケーション」に関する調査 集計結果まとめ

<はじめに：回答者の特徴>

あなたについて、あてはまるものに○をつけてください

a 性別

男	女	回答なし	合計
1,446	740	5	2,191人
66.0%	33.8%	0.2%	100.0%

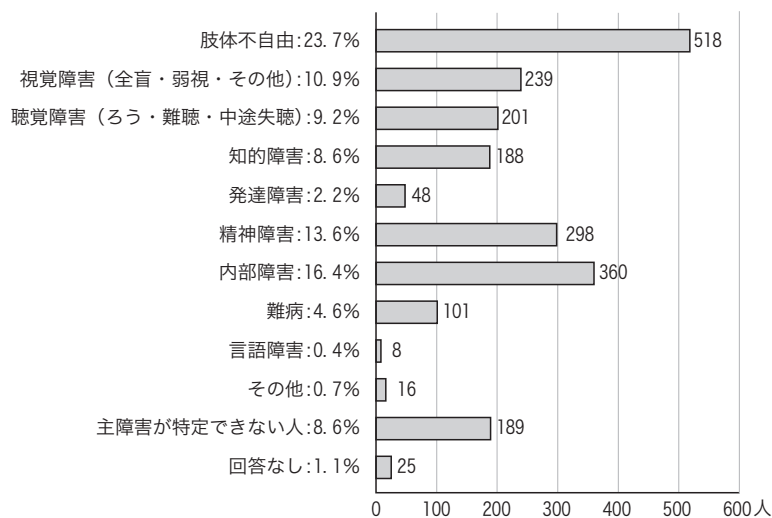
- <はじめに>は、回答者の属性に関する設問である。
まず性別については、回答者の66.0%が男性であった。

b 年齢

0歳～17歳	18歳～64歳	65歳以上	回答なし	合計
49	1,720	410	12	2,191人
2.2%	78.6%	18.7%	0.5%	100.0%

- 回答者の78.6%が、18歳～64歳の年齢層に属する。65歳以上は18.7%であった。

c あなたの障害について（1）障害種別：“単一の障害”または“重複障害のうち主な障害”による分類



- 回答者のうち、単一の障害のある人、また重複障害のうち「主な障害」を特定できる人を分類した。肢体不自由（23.7%）、内部障害（16.4%）、精神障害（13.6%）のある人の順に多い。なお重複障害があり「主な障害」を特定できない人は8.6%であった。

障害種別に見た性・年齢構成（無回答・その他は除いたが合計には含まれている）

	男	女	0～17歳	18～64歳	65歳以上	合計
肢体不自由	356 68.7	160 30.9	6 1.2	377 72.8	131 25.3	518人 100.0%
視覚障害 (全盲・弱視・その他)	149 62.3	90 37.7	0 0.0	176 73.6	63 26.4	239 100.0
聴覚障害 (ろう・難聴・中途失聴)	91 45.3	110 54.7	3 1.5	151 75.1	44 21.9	201 100.0
知的障害	127 67.6	61 32.4	14 7.4	174 92.6	0 0.0	188 100.0
発達障害	41 85.4	7 14.6	14 29.2	34 70.8	0 0.0	48 100.0
精神障害	222 74.5	76 25.5	0 0.0	287 96.3	10 3.4	298 100.0
内部障害	259 71.9	100 27.8	0 0.0	266 73.9	92 25.6	360 100.0
難病	65 64.4	36 35.6	0 0.0	77 76.2	24 23.8	101 100.0
言語障害	6 75.0	2 25.0	3 37.5	3 37.5	2 25.0	8 100.0
重複障害で主な障害 が特定できない人	108 57.1	80 42.3	9 4.8	147 77.8	32 16.9	189 100.0
合計	1,446 66.0	740 33.8	49 2.2	1,720 78.5	410 18.7	2,191人 100.0%

性別構成では全体の男女比、つまりおおむね2：1と似た構成が多いが、「聴覚障害」のみが過半数が女性と際だっている。また「精神障害」や「発達障害」では男性比率がかなり高い。

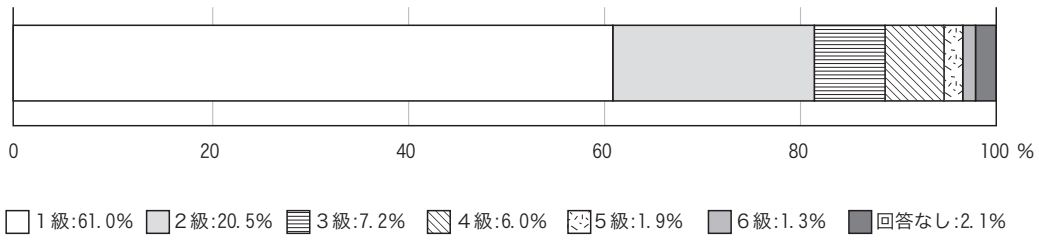
年齢3区分では、全体に比べて「発達障害」や「知的障害」では17歳以下の層が多いことと、「精神障害」ではほとんどが成人期であることなどが特徴的である。

c あなたの障害について（3）障害者手帳を持っていますか。

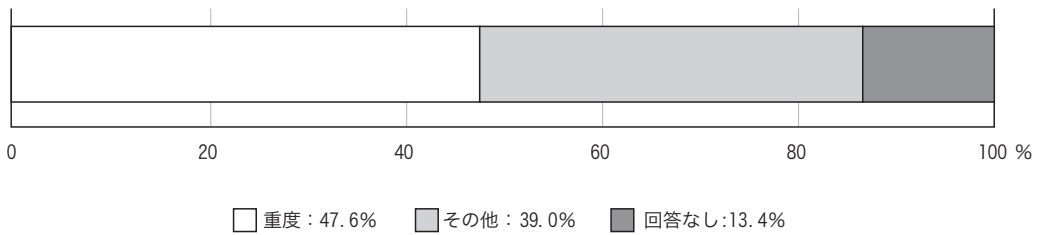
身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	どれも持っていない	回答なし	回答者数
1,594	292	277	87	13	2,191人
72.8	13.3	12.6	4.0	0.6	100.0%

- 回答者の72.8%が身体障害者手帳を所持している。13.3%が療育手帳、12.6%が精神障害者保健福祉手帳を所持している。手帳を持っていない人は4.0%で、3.3%が2種以上の手帳を持っている。
- 手帳の等級については、身体障害者手帳では1級所持者が最も多く61.0%である。療育手帳では、「重度」と「その他」の割合がほぼ半々である。精神障害者保健福祉手帳では、2級の所持者が最も多く63.1%である。

身体障害者手帳等級



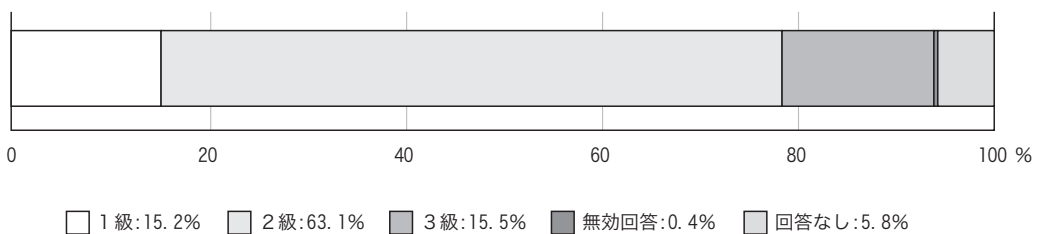
療育手帳等級



「重度」(A1、A2、○A、A、1、2、最重度、重度など)

「その他」(B1、B2、○B、B、C、3、4、中度、軽度など)

精神障害者保健福祉手帳等級



c あなたの障害について (4) あなたの障害が起きたのは何歳頃ですか。

0歳～5歳	6歳～10歳	11歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	回答なし	合計
766	88	267	356	225	206	159	55	6	63	2,191人
34.9	4.0	12.2	16.2	10.3	9.4	7.3	2.5	0.3	2.9	100.0%

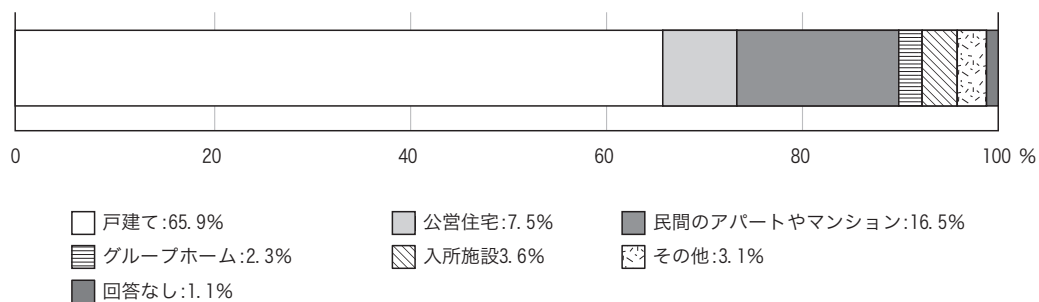
●障害が起きた年齢は、0歳～5歳が34.9%で最も多い。これに次いで、20代と10代が、それぞれ16.2%、12.2%と多い。

c あなたの障害について (5) 普段お使いの補助具、補装具などは何ですか。

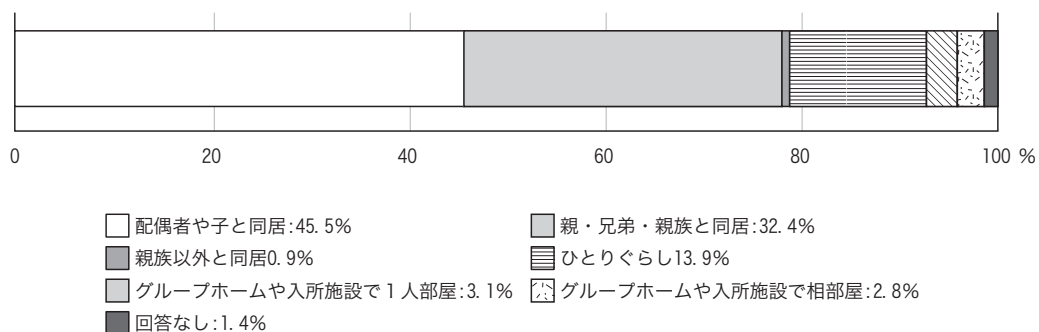
車いす	白杖	補助犬	補聴器	使っていない	その他	回答なし	回答者数
490	216	11	160	990	358	92	2,191人
22.4	9.9	0.5	7.3	45.2	16.3	4.2	100.0%

●回答者のうち、補助具、補装具を使用しない人が45.2%であった。
車いす使用者は22.4%であった。

d 世帯構成 (1) どんな家に住んでいますか。

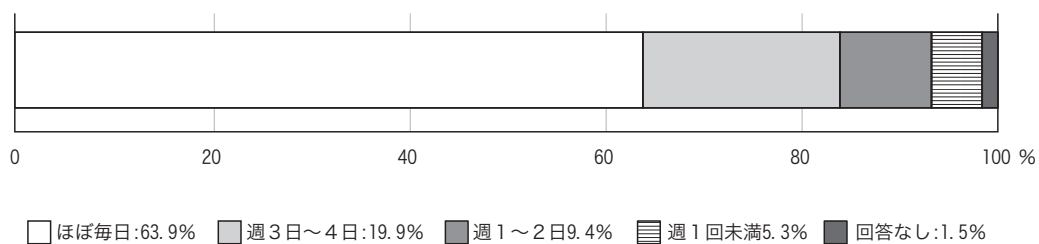


d 世帯構成 (2) 誰と住んでいますか。



- 世帯構成については、戸建てに住む人が65.9%と最も多く、次いで民間のアパートマンションに住む人が16.5%であった。公営住宅は7.5%で、施設入所者は3.6%であった。また、配偶者や子と同居 (45.5%)、親・兄弟・親族と同居 (32.4%) している人で8割近くを占める。ひとり暮らしをする人は13.9%であった。

e 外出頻度



- 回答者のうち、ほぼ毎日外出する人が63.9%、週3日~4日外出する人が19.9%で、この2つだけで全体の8割を超える。

f 仕事 (1) あなたは、いま仕事をしていますか。

している	していない	回答なし	合計
1,190	975	26	2,191人
54.3	44.5	1.2	100.0%

f 仕事 (2) 仕事をしている場合、どのように働いていますか

自宅で働いている	自宅以外の会社や店舗などで働いている	作業所・授産施設で働いている	その他	回答なし	合計
187	491	346	154	12	1,190人
15.7	41.3	29.1	12.9	1.0	100.0%

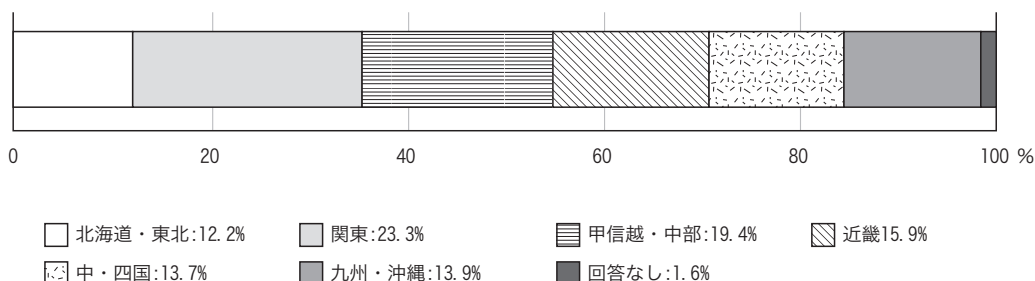
●回答者のうち、仕事をしている人は54.3%、していない人がやや少なく44.5%であった。
仕事をしている人のうち、自宅以外の会社や店舗などで働いている人が最も多く、41.3%であった。

g お住まいの場所 (1) 都道府県名

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
90	19	32	42	30	25	30	36	29	26
4.1	0.9	1.5	1.9	1.4	1.1	1.4	1.6	1.3	1.2
埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
57	60	162	140	48	32	27	17	23	24
2.6	2.7	7.5	6.4	2.2	1.5	1.2	0.8	1.0	1.1
岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
24	44	98	87	24	88	111	69	24	32
1.1	2.0	4.5	4.0	1.1	4.0	5.1	3.1	1.1	1.5
鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
33	24	29	62	27	28	26	35	37	99
1.5	1.1	1.3	2.8	1.2	1.3	1.2	1.6	1.7	4.5
佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	回答なし	合計	
23	24	46	25	30	28	29	36	2,191人	
1.0	1.1	2.1	1.1	1.4	1.3	1.3	1.6	100.0%	

●回答者が住んでいる都道府県は、ほぼ均等であるといえるが、東京都、神奈川県、大阪府などの大都市圏が比較的多い。便宜的に6つの地域ブロック(下記(注)参照)に分けて傾向を見たのが次の図で、関東が23.3%とやや多いが、ほぼ均等であるといえる。

g お住まいの場所 (1) 地域による分類



(注)

北海道・東北(7): 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東(7): 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

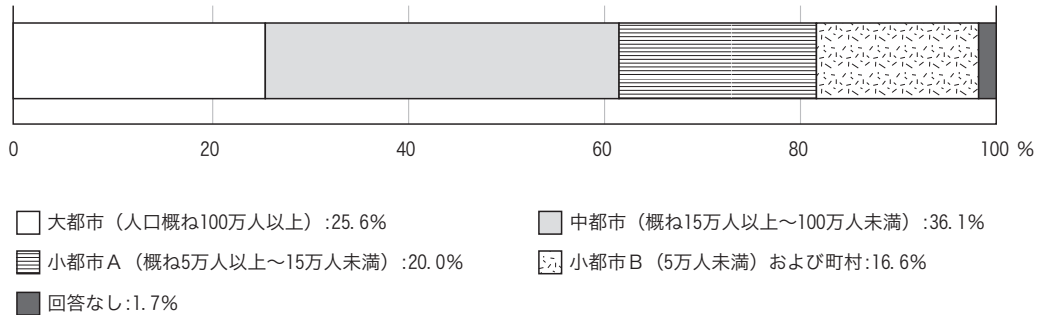
甲信越・中部(10): 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿（6）：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国・四国（9）：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄（8）：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

g お住まいの場所（2）市区町村の規模



- 回答者が住んでいる市区町村の人口規模で見ると、15万人～100万人の「中都市」が最も多く36.1%である。人口15万人未満の「小都市A・B」の合計が36.6%であり、100万人以上の「大都市」（25.6%）と比べても大きな偏りはないといえる。

h その他（1）このアンケートを記入している人は誰ですか。

あなたが自身 が記入 （『代筆』含む）	『代理記入』 （家族・介 助者（支援 者）・施設 職員・障害 者団体の職 員・友人）	回答なし	合 計
1,751	415	25	2,191人
80.0	18.9	1.1	100.0%

- アンケートに記入したのが障害のある人自身であるのは80.0%であった。（「代筆（本人の指示や判断により他人が代筆する）」によるものも含む。）

h その他（2）この調査票をどこから入手しましたか。

所属している 障害者団 体から	その他から	回答なし	合 計
1,915	245	31	2,191人
87.4	11.2	1.4	100.0%

- 調査票の入手先は、所属する障害者団体からの入手が87.4%であった。